

社民党多摩支部事務所

〒206-0033
東京都多摩市落合3-1-3-103
TEL/FAX 042(376)4886

THE SHAKAI SHIMPO

社会新報



号外 2022◆8.31

発行所
社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル7F
電話代表 03(3592)7515・振替 00140-1-3203
●定価 180円 ●1ヵ月 700円 ●送料 160円

多摩市議

伊地智きょうこ

いぢち恭子の

多摩市議会レポート No.29

● 9月議会特集 ● 2022.8.31 発行

コミック・レポート
「タンバリン通信」スペシャル
英語の民間テスト問題と
参院選のご報告



都立高校入試が危ない —— 民間の英語スピーキングテスト導入について

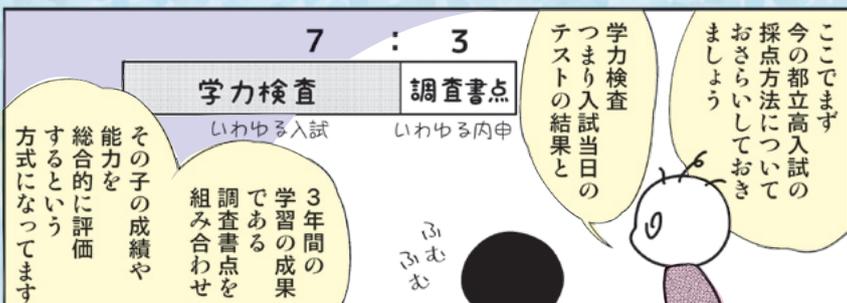


「ESAT-J」(イーサット・ジェイ)と聞いて、何のことだかわかる人はどれだけいるでしょうか。

これは今年度から導入される英語の民間テストで、結果が都立高校入試の内申点に加算されます。受験生にとって重要な試験の内容がほとんど知られていないため、6月議会の一般質問で詳しく聞きました。



多摩市議会議員(社民党)
いぢち恭子



大学入試では失敗した事例

2019年、文部科学省が大学入試に「英語民間試験を活用」しようとして、失敗に終わった一件をご記憶の方も多いと思います。あのとき問題とされたこと、「家庭環境による格差が広がるのではないか」「話す能力をどう評価するのか」「なぜ民間試験の導入が必要か」といった疑問は、都立高入試についてもそのまま当てはまります。

東京都教育委員会(以下、都教委と略)は、かつての《事件》から何を教訓とし、どのように内容改善をはかったのでしょうか? 多摩市教育委員会とのやり取りでわかったことをお伝えします。

←ツボ = 学力検査
ハコ = 調査書点
4教科のハコが大きいのは、こちらだけ通知表の成績を倍にして計算するから



好評・タンバリン通信
スペシャル編です!



しかし! 質疑でわかったこのテストのおかしな点はこれだけじゃありません

そう なぜ英語の一分野だけ特別に評価するのか?

??? よくわかんないけど

内申に足すつてこと?

そゆこと

英語の内申はもう出てるのに?

- ①採点基準があいまい
- ②採点方法が雑すぎる
- ③実施時期がおかしい
- ④受けなかったらどうなる?
- ⑤公平・公正な入試?
- ⑥なぜ民間テストが必要なのか?

それもこのテストの問題点のひとつ

今の授業では元々の4技能を重視してます

聞き書き 読み書き

普通の成績に反映されてるよ

間違えてもスラスラ話せる

聞き取りやすい

つっかえながらでも正しい英文

「スピーキング能力」とはいったい何を指すのか?

実はこのテスト以前にプレテストというリハーサルをやってるんですが

何を評価されてるのか正直わからなくて

感想が

体験者



採点者についてわかっているのは

フィリピンで事業者が選んだ「専任スタッフ」がたずさわるとのことだけ

ちなみに授業では「間違いを気にせずのびのび話そう」と指導されますが

質疑でも結局何が「話せる」ことなのかは不明なまま

学習指導要領

更にひとつは採点方法

テスト自体は百点満点なんですが内申に反映させるため6段階評価に変換されます

もちろん試験会場にいるスタッフも業者が用意したバイト要員など

つまり教員資格のない人が中学生に対応するわけです

1点でも34点でも「4点」なの? 受検生もオヤモシヤ怒るでしょ

その配点表がこちら

1点を争うシビアな入試でこれですよ

	(点)
A	80~100
B	65~79
C	50~64
D	35~49
E	1~34
F	0

《ESAT-J》

「English Speaking Achievement Test for Junior High School Students」の略。東京都教育委員会が事業主体、(株)ベネッセコーポレーションが運営主体として共同実施する。

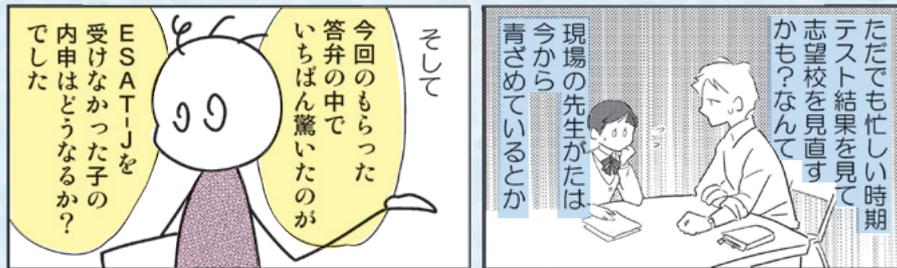
試験ではタブレットが貸与され、都内の中学3年生約8万人が試験日1日の前半組と後半組に分かれて受験する。つまり、1台のタブレットを2人の生徒が使う形となる。

入試としてもア・テストとしても不可解

マンガの中で列記した問題以外にも、ESAT-Jにはいくつも納得しがたい点があります。そのひとつは、アチーブメントテストでありながら、採点以外の詳しい結果は非開示となる可能性が高い(※東京都国際教育推進担当課長の発言)ことです。

プレテスト後「点数と短いコメントのみでは、今後の学習に活かさない」「スコアだけでは何が間違っていたのかわからない」という生徒の声が挙げられたそうですが、都教委は依然として内容の全面的な開示を明言しません。学力検査の結果はすべて開示可能だということなのに、これはあまりに理不尽な扱いではないでしょうか。





公平・公正な入試が行えるか

タブレットを時間差で2人の受験生が使う、という実施方法にも注意すべきです。入試は全受験生が同一時間内に一齐に受けるのが大原則で、実際にはそれでもさまざまな不正が行われています。前半と後半の受験生が接触しない配慮はされているようですが、入試の公平性を担保するためには、もっと厳格な対応を考えるべきと思います。

不正以外にも、たとえば後半組の試験時のトラブルで前半受けた生徒の解答が消えてしまうなど、機器1台を複数の生徒が使うリスクの可能性についても、識者や保護者から心配の声が挙がっています。

民間テストを導入する意義は？

今の英語教育は4技能が重視されていると言っても、中学校の授業は週に3回程度、1学級の生徒数は35~40人です。学校の授業で全生徒が十分な発話訓練のできる時間設定ではありません。

とすれば当然、塾や英会話教室に通える生徒とそうでない生徒の間に差が生じます。

公教育の中で、格差を助長する取り組みを軽々しく導入すべきではありません。

ただでさえ、民間業者が入試にたずさわることの是非はまったく議論不十分なのが現状です。これほどまでに問題の多いスピーキングテストは絶対に見直しが必要で、今後も調査と追及を続けていきたいと思っています。

全会一致で意見書提出

陳情に対する会派の意見

◆ 女性差別撤廃の足がかり

今回、生活環境常任委員会に提出された以下の陳情に対して、当会派は「採択すべき」との立場で意見討論を行いました。

「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准の為、政府に意見書提出を求める陳情

日本は1985年に「女性差別撤廃条約」を批准しましたが、その実効性を強化するための付随文書である「選択議定書」の方はずっと批准していませんでした。これは事実上、条約の批准を形骸化するに等しい扱いです。男女平等条例を持っている多摩市であれば、態度はとりわけ明快でなくてはならないでしょう。

◆ 多摩市議会が一つになった

多摩市議会では、意見書提出のためには、全議員が陳情を採択しなければなりません。私たちの会派は積極的に採択に向けて意見交換を行い、すべての議員の理解を得て、ついに意見書提出を実現させることができました。

もちろんこれはゴールではなく、差別撤廃に向けた新たなスタートです。本当に差別のない社会の実現をめざして、たくさんの人と手をつなぎ努力してまいります。

いぢち恭子は、多摩・生活者ネットワークの岩崎みなこ、岸田めぐみと3名で、会派「ネット・社民の会」を結成しています。



参議院議員選挙 2022 社民党の闘い

今年7月10日執行の参議院議員選挙は、
私たちの党首である福島みずほ議員の5度目の挑戦であり、
また党が国政政党として存続できるか否かの大きな分かれ目でもありました。
収束しないコロナ禍、ウクライナ侵略と改憲・軍備増強をめざす声、
更には異常なまでの物価高騰……
荒波に揉まれる社会情勢の中、「今・ここ」の日本国民が示した選択は――

◆ 守り抜いたもの・失ったもの

厳しい選挙戦でした。そして、ありがたくも厳しい選挙結果でした。

比例区の候補者は8名、東京選挙区は服部良一候補1名。新社会党や緑の党、また多くの無所属議員、そして社民党に一票を投じてくださった市民の皆さまのお力で、以下の成績を残すことができました。

比例区の得票数 1,046,011 票
得票率 2.37%
福島党首の得票数 216,984 票
東京選挙区（服部良一）の得票数 59,365 票

福島党首の当選、政党要件の維持は本当に嬉しい結果です。しかし他の比例候補と東京・服部候補の落選は残念と言うしかなく、そのことを含めて党の現状には決して甘んじていられないと感じています。

いわゆる立憲野党の側の状況も同様で、特に一人区の壊滅的な結果を見れば、やはり野党共闘を進める以外の選択肢はないと言えるでしょう。

◆ 社民党のいない国会はあり得ない

しかし何よりも、命の尊厳と言動の自由を根こそぎ奪おうとする暴力、政治にたずさわるものの行動を封殺するテロ行為を、私たちは全力で拒絶し社会から根絶しなければなりません。私はまさに今こそ社民党がふるい立つべき時と確信しています。



改憲ではなく、憲法を活かす政治を。

戦争ではなく、平和外交を。

国会には社民党が必要です。すべて一色に塗りつぶそうとする力を押しとどめる関が必要です。社民党にその仕事をさせていただくために、私たちはもっともっと強くならな

ければなりません。

民主主義と平和を守るため、ともに頑張りましょう。

いぢち恭子のプロフィール



- ・1962年生まれのO型おひつじ座
- ・1976年から多摩市落合在住
- ・市立豊ヶ丘中学、都立永山高校卒業
- ・和光大学入学後、現代舞踊&整体による身体表現研究に転進
- ・2015年、多摩市議会議員選挙に初当選
- ・2019年、再選（現在2期目）
- ◆総務常任委員 ◆議会だより編集委員
- ◆多摩市土地開発公社 評議員

街頭ではコミック・レポート『タンバリン通信』をお配りしています。タンバリン通信バックナンバー掲載中!



公式ブログ『キョーコ式ランドスケープ』
<http://kyokolandscape.blog.fc2.com/>



いぢち恭子公式ホームページ
<https://www.ijichi-kyoko.net>

お困りごとがありましたら、お気軽に下記へご相談ください。

発行・連絡先
いぢち恭子とまちづくりの会事務局
〒206-0033 多摩市落合 3-1-3-103
TEL&FAX / 042-376-4886
TEL&FAX(自宅) 042-400-6264
E-mail / ipanema_red@yahoo.co.jp

